2025 年 3 月 31 日

澁澤倉庫株式会社

当社取締役会の実効性の分析・評価に関する結果の概要について

当社では、取締役会の更なる機能向上をはかることを目的として、取締役会の実効性の分析・評価を実施しております。今般、2024 年度の分析・評価が完了しましたので、その結果の概要について開示いたします。

１．分析・評価の方法

2024 年度の分析と評価については、以下の事項に関する無記名方式のアンケートを取締役会構成員全員（11 名）に配布し、当アンケートを回収の後、集計いたしました。

また、この集計結果を基に、本年３月の取締役会において、今後の取締役会の機能強化に向けた取組みについて討議いたしました。

※アンケートの内容

（１）2024 年度に実施した改善事項への評価

（２）取締役会の構成に関する事項

（３）取締役会の運営に関する事項

（４）個々の議題に関する事項

（５）取締役会構成員としての自己評価

（６）取締役会の審議の活性化や機能強化のための取組みに関する自由記載

２．分析・評価結果の概要

当社の取締役会は、適切に運営されており、構成員すべてが自由に発言できる雰囲気を感じており、意思決定プロセスも合理的であることを確認いたしました。また、社外取締役と社外監査役（以降「社外役員」と称します。）は、その役割と責務を十分に果たしており、取締役会の実効性が確保・改善されていることを確認いたしました。

３．2024 年度に実施した改善事項への評価

2024 年度に実施した改善事項とその評価は以下のとおりでした。

（１）多様性の観点から女性の社外取締役を補充すべきとの意見

2024 年６月 27 日開催の第 177 期定時株主総会において、不動産事業の経験と専

門的な知見を有する女性の社外取締役１名を選任頂き、議論に活発に参加頂いております。

（２）企業戦略、中期経営計画、主要なリスク、サステナビリティ課題への取組み、事業ポートフォリオ戦略等や資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応に関する議論を更に深めるべきとの意見

「澁澤倉庫グループ中期経営計画 2026」の進捗報告の中で、資本コストを意識した経営の現状分析や事業ポートフォリオに関する分析等の報告にもとづき、当社の目指す姿を実現するべく議論を行いました。また、サステナビリティ課題に係わるマテリアリティに関し、前年度の取組み結果を踏まえ、評価項目および指標（ＫＰＩ）の更新並びに取り組み方について議論を行いました。

一方、上記の取組みを深化させて行く上で、次の様な意見がありました。

・企業戦略における重要課題である、人的資本投資、ブランド戦略、研究開発投資等は、個別案件の議案だけではなく、成長投資の一環として規模感を含め予算の中でも議論すべきとの意見。

・企業戦略、中期経営計画を更に実効的なものにするために、戦略案件の重要性に応じて、案件進捗の定量的・定性的なフォローアップや対応策の検討等も議論すべきとの意見。

・リスクテイクの実状とリスク管理態勢について、グループ全体を俯瞰した議論を深めるべきとの意見。

４．分析・評価を踏まえた今後の対応

（１）取締役会の在り方について

監査等委員会設置会社への移行により、執行サイドへの委任事項の見直しを行い、取締役会は経営方針、経営戦略等の審議をより一層充実させることで、監督機能を強化、高度化させ、更なる企業価値の向上に取り組んでまいります。

（２）情報のインプットについて

サステナビリティ課題に対する最新の動向や趨勢について知見を拡げる機会を設けてまいります。

事業現場を実地に見学し当社事業の現状への理解を深める機会を更に充実させてまいります。

以　上